

令和6年12月教育委員会定例会会議録

日時 令和6年12月20日（金）

10:00～11:50

場所 波佐見町役場 第2会議室

出席者：森田教育長、山下委員、馬場委員
松尾委員

事務局：朝長次長、渡邊指導主事、筒係長

1. 出席者の確認 富木委員欠席（松尾委員、筒係長途中退席）

2. 会議録署名委員氏名

馬場委員、松尾委員で了承されました。

3. 報告事項

1) 教育委員会

11・12月事業報告、12・1月予定について

（別紙により朝長次長報告）

2) 給食センター

11・12月事業報告、12・1月予定について

（別紙により朝長次長報告）

筒係長 別紙で、10月に馬場委員からお問合せ頂いておりました。給食の残食の資料を、1枚紙、カラーの分ですが御提示しております。表は東小学校と中央小学校、裏に南小学校と中学校分ということで提示をしております。左側のメモリを見ていただいて、残食量がグラム表示になっています。最大で16グラムの表示ですが、大体15グラムが大さじ1杯程度ではありますので、1人当たりに換算したら、大さじ1杯程度も残していないというような状況になります。結構子供たちよく食べていただいているというような状況になっております。元年から6年度、元年の3月のデータがちょっとないので空欄にはなっていますが、令和6年の10月までの状況を載せております。以上になります。

森田教育長 筒係長がこの後業務の関係で出ていきますが、給食のことで何か、今の残滓残菜のことも含めて何かありますか。

コロナの影響も思ったほどは無かったようですね。無償化による残滓残菜が増えたわけでもない。むしろ6年度は、どこの学校も減っている。今係長が言ったように、15グラムで大さじ一杯程度ということであれば、かなり県内でも少ない方だと思います。それとやっぱり、温かくて美味しい給食ということでの評判もあるのかなと思いますし、学校の方での取組も

進んでいるのかなとは思っています。

馬場委員 中学校がちょっとね。

筒係長 そうですね。特に令和5年度が多いなというイメージなんですけど、すいません。ちょっとそこまで分析ができていません。今年度は結構減ってはいますが。

松尾委員 人数で割っているんで、1人当たりの数字となっているようですが、何か割らない方が分析しやすそうな、メニューによってとか、残っている時は何のメニューの時とか、御飯の時が多いんじゃないとか、パンの時に残す人が多いんじゃないとか、そういうのが分かりやすいような。余りに細か過ぎて。

山下委員 残菜量として表示していただいたほうが分かりやすいかなと思います。見た目、15グラム以下で、一人当たり大さじ1杯より少ないですよと言われたら、何か少ないようなイメージはありますが、全体としてはどうなのかとなった時、1日これくらい出たというのが分かった方が良いのかなと思います。先ほど松尾委員さんが言われたように、メニューによっても違うと思います。

森田教育長 センターでは多分それは集約していると思います。米飯とパンの違いとか、今日のメニューでこうだと言うのは、センターとしては分かっていますので、それを受けて栄養教諭は献立を考えていきますからね。

馬場委員 中にはおかわりしている子もいるみたいですね。残す子は残すんだろーけどね。やっぱり個人差があるんでしょ。

森田教育長 だから難しいところもあってですね。中学生は量が小学校とは全然違うというところもあると思いますが、でも、波佐見の中学生は、女の子でもよく食べます。普通の女の子はなかなか食べないところが多いんですが、比較的聞いている限り、女の子が結構食べてるという印象はありますね。

松尾委員 中学生は、補食みたいなもの、おうちの人から部活の前とか後とかにかいうのがあるんですかね。

筒係長 そこは把握していません。

森田教育長 持ってきている子もいると思いますよ。

松尾委員 給食の時間に食べて、この後どうかというので変わってくると思います。

森田教育長	社会体育の方でも、少しそういう軽食的な持ってきている子供もいます。多くではありませんが、保護者によってそういうふうな補食的なものを、部活動の前に軽く入れるというところも何かあるようですね。ただ、その取扱いが学校としては気になるところではあるんですけども。
馬場委員	給食費の無償化になって、保護者は非常に助かっていらっしゃると思います。結局今年野菜がすごく高くなったでしょ。その影響というのは、大丈夫だったんですか。
筒係長	一生懸命、栄養士の先生がやりくりをしてですね。量にも質にも影響が出ないようにということで。メインのおかずとかご飯とかそこを落とすわけにはいかないの、そこは保つようにして、デザートとか子供たちの楽しみの部分を少し削ってですね。
馬場委員	町の予算が決まっていて、以前は払った分だけの予算でされていたと思うけど、無償化になって、町はオーバーした分も出してもらえるのかどうかというのは、ちょっと気にはなります。
筒係長	無償化しても町に請求をする時は、あくまで今まで保護者さんから頂いてた1食当たりの単価で計算をして出しますので、今までと考え方は変わりませんので、オーバーするという考えは基本ありません。
松尾委員	今から燃料費も上がります、人件費も上がりますということになると、今までそれこそ、保護者さんには小学校で1食270円で提案していたところを、予算を組む時に今後は300円にしてくださいというタイミングが出てくるのではないかと考えています。
朝長次長	もう新年度はそうしていかないとですよ。
松尾委員	今の段階で出していないと、子供たちに提供する時に、足りないとなると、余りにも可哀そうと思います。
筒係長	ちょっと財政折衝前なので、担当者の思いとしてというところなので、小学校で25円アップの295円、中学校で35円アップの355円で、ちょっと予算的には要望しようかなというところなんです。
森田教育長	今までの質を変えないというところで、今までやってきましたけれど、今おっしゃったように、かなり厳しいところがあるので、来年度予算にはそういうことも踏まえた形で予算要求をしています。これは通してもらえないと、今おっしゃったようにレベル、質を下げなくちゃいけない、量を下げなくちゃいけないという、子供たちの健康に関わることでありますから、こ

こについては強力にお願いして、美味しくて、栄養価の高い、安心な給食を今後も提供していきたいと思っております。

先ほど述べたような、日によってのデータの部分を、毎日毎日は大変だと思うので、傾向としての部分をデータとして持っておいていただいて、多分そこら辺りは栄養士の先生がされてるとは思いますけれど、そういう情報をもし求められる時は、準備頂ければ大変ありがたいと思います。

他に給食の方はございませんか。

※報告事項（追加・その他）

森田教育長

つけ加えをさせていただきます。まず11月の部分に戻ってもらって、林道マラソンが大体第3日曜日に開いていましたが、御存じのように豪雨災害からあそこの路線が使えなくなったので、昨年度、永尾の方で試しにしてみました。コースそのものも初めてでもあったということと、アップダウンがかなり厳しいということと、駐車場からスタート地点まで1キロぐらい歩いていかなくはいけないとなど、様々な条件環境が不評とまではいかなかったんですけど、以前に比べると、というところがあったものですから、できれば中尾の方に戻したいなと思っています。ところが、豪雨災害の判定がやっと今降りて、工事が着工できるようになりましたので、それが今年、新年度に行われますので、林道マラソンを復活とするのであれば、8年度からになります。ただし、もう一つの課題として、役場スタッフに準備と当日で100名ぐらい動員をかけています。これも働き方改革等々から考えた時、余りどうなんだろうかと町長からどの課においても、土日の業務を多くの役場職員でやらなくてはいけないというところは、少しもう見直すべきではないかという、全体的な号令が出ました。その2点の中で、まず前段の部分は工事が終われば出来ませんが、後段のスタッフの確保をどうするかというところを一つ宿題として与えられています。私たちとすれば、例えばそこに高校生とか中学生をスタッフとして雇い入れるとか、そういうこともできるかなあとか、あるいはボランティアスタッフとして協力者を仰ぐということも、出てくるのではないかと思います。せっかくユニークな波佐見らしい取組なので何とか残したいなとは思っていますが、再来年度8年度に向けて、計画をしていかなくはいけないと思っています。

23日が町の表彰式が行われています。教育委員会関係では、太田スポーツ体育協会の会長さん、そして社会教育の野中先生、それと読書ボランティアのお話の部屋はてなの5団体という方を表彰としています。あと、歴史文の方にコレクションを数多く寄贈いただいた恵良先生の方に感謝状という形で贈呈します。もちろん挨拶運動等の善行の部分で、皿山の前自治会長の加藤さんとか、そういう方もいらっしゃると思いますので、学校としても地域貢献として学校貢献としていろんな方がいらっしゃると思いますので、是非拡大をして広げてくださってことをお願いをしています。

10月28日から、そこは中央小学校だったんですが、更生保護女子会と補導関係の方々が、非行防止寸劇を3年生4年生を対象に行っていました。中央小東小南小でそれぞれ、この前は南小学校の分が恐らく新聞、そしてテレビ放映が流れたと思っています。

次、これも前にもお話していたと思いますが、尾上議長のお知り合いの方がピアノを寄贈して良いよという方がいらっしゃって、それを利用して近々講堂にピアノ、それこそストリートピアノという形で講堂に置くようにしています。調律と運搬も予算化をしておりますので、あそこにピアノを置いて、お客様が自由にピアノを弾いていただいて、音響の素晴らしさ等々を味わっていただけたらという講堂ピアノという形で設置をするように今進めています。あとギターあたりも置いとけば、自由に弾いていただけるかなあとと思っています。

14番の昨日行いました教育支援会議ですが、特別支援学級の措置変更が必要かどうかを判断をするという会議になります。御存じのように、今先天的に発達障害を抱えている子供たちもですが、後天的な、保護者の養育状況により、落ち着きがないとか、学力がなかなか厳しいとかいうところもあって、今回もかなりの人数を診断しました。今のところまだ確定ではありませんが、東小学校が今2つある支援学級が4学級になります。中央小学校が今知障と肢体不自由、情緒で3クラスでしたが、もしかしたら知障があと1クラス増えるかもしれません。そして南小学校さんも、知障と情緒がありますが、今度はここに情緒が増えて2クラスになる可能性があります。中学校は逆に卒業した関係で、それと通常学級に戻るということもあって、知障が2クラスだったところが今度1クラスということで、中学校だけが減になりますが、小学校が1ないし2増になります。そうすると職員増になっていくということで、県の方に職員の配置を要望しようと思っています。ただ、支援学級等々へ措置変更することに対する保護者の意識、特に母親は困り感がありますし、よく実態が分かっているので、何とか支援学級等々に入れてほしいとおっしゃっていますが、父親と祖父母が認めないというパターンが何例かあります。だから検査を受けられないとか、もうそういう措置変更はしないでくれという話をされますが、ただ子供の実態を見たらもう大変厳しい状況にあって、その子は勉強が全く分かっています。あるいは、落ち着きがなくてどうしても教室を出て回ったりしていますが、その実態を母親はよく知っているので苦しんでいます。父親と祖父母が認めないところが、相変わらず2、3例あって、厳しいところがあります。データを提供して、こういうデータなんですと言っても、いやいやというところで、なかなか厳しいところがあるというところが、ちょっと気になるところです。どこにもあるんだろうと思いますが、一つの課題かなあとは思っています。

中央小学校の修学旅行が、昨日おとといこの時期になったということで、えーという声が多分上がるんだろうと思いますが、大きな理由が猛暑酷暑によって旅行シーズンが大幅にずれ込んだことによって、バスの確保が難しくなったということと、2024問題でドライバーさんがいなくな

るから、西肥バスの路線廃止も同じなんですけれど、バス運転士さんがいないので、バスの確保がとにかく難しくなったということです。昨日はもう文科省から、修学旅行のシーズンを検討しなさいというわざわざ通知が来ました。固めてしまうとバスが確保できないので、分散して行うように学校に指導しなさいという通知が文科省から来ましたので、この2024問題と猛暑酷暑の問題はこういうところにも影響を及ぼしているんだなあということを実感しているところです。

部活動の地域移行につきましては、先ほど説明があったとおり、今県教委も、波佐見モデルをかなり意識してくれていて、特に中村君を県の有識者会議のメンバーに推薦して、是非入ってくれということで、1昨日その第1回目の会議がありました。県教委とすれば、県内各地でこの地域移行の研修会をする時に、波佐見町のモデルを紹介したい、あるいは中村君も同席してお願いをしたいということで来ているところです。私も客観的に見ても、波佐見モデルはとても良いものを行っているかなということを考えています。

生涯学習のつどいでは、今年は波佐見高校からも2年ぶりに発表してくれますが、そのうち1人が英語スピーチコンテストで長崎県代表になった生徒さんが出場をしてくれます。もう1人は、朗読のコンクールで入賞した生徒さんということで、これは小・中学生にとっては大変聞きごたえがあるかなと思っておりますので、詳細決まりましたら、またお知らせをしたいと思います。

最後の子供県展、郡部開催の波佐見会場がやっと念願かなってできるようになりましたので、講堂を使って県内の優秀作品と併せて、東彼杵郡の子供たちの図画作品展の優秀作品も講堂の2階の方で同時開催という形でやっていきたいなということを考えております。町内全ての小中学生は、鑑賞に行くように、南についてはバスを、準備をして、ここだけでも1,200人1,300人の子供たちが見ることができますので、あと、自治会等々あるいは町内放送等で案内をし、多くの方々に見ていただくと大変ありがたいかなあということを考えています。

追加を含めて何か御質問お尋ねございませんでしょうか。それでは、報告の3番をお願いします。

3) 12月議会定例会について

朝長次長 はい、12月の定例会でございますけども、別冊にしております。

【資料に基づいて説明】

森田教育長 報告事項について質問なければ、次議題のほうの就学援助認定について、提案をお願いします。

4. 議題

1) 準要保護（就学援助）の認定について

朝長次長 2件の申請が参っております。

【資料に基づき説明】

森田教育長 2件ともご承認、よろしいでしょうか。

【委員了承】

森田教育長 それでは持ち寄り議題は後にして、その他の方を先に確認をしていきましょう。

5. その他

1) 二十歳のつどい

2) 令和6年度市町村教育委員会研究協議会

3) 波佐見一周駅伝

4) 子ども県展

5) 林家たい平独演会

朝長次長 先ほど言いました二十歳のつどいは10時半からということをお願いしたいと思います。

1月16日の文科省関係の研究協議会、これはウェブ会議でございますけれども、1時15分からウェブ会議が始まります。最初は第1会議室で受講し、分科会が2つに分かれます。1回目の分科会が、第1分科会は、さらなる働き方改革、処遇改善、学校の指導運営体制の充実の一体的な推進というところで、4名の方の割り振りが来ました。そして不登校いじめ対策には、山下委員さんの割当てが来ましたので、山下委員さんには、場所を相談室の方に移動してもらって受講をしていただくような形になります。

2回目が休憩を挟みまして、学校の部活動と地域と学校の連携協働というテーマになってまいります。向こうから割当てが来ましたので、それぞれ分かれて受講をお願いしたいと思っております。その資料を12ページ以降につけています。これを文科省の方に波佐見町の取組についてということで、提出しようと思っております。

続きまして一周駅伝でございますけれども、1月19日でございます。今のところ4地区が辞退ということで、連絡が来ているみたいです。チーム数にしてみたら昨年度と同じぐらい25～26チームになるんじゃないかなというふうに思っています。3チーム出すところもあるようです。

子ども県展は先ほどもありましたが、チラシを入れております。これは今度の1月の自治会長会で、これを回覧して周知をしてまいりたいと思っております。それとあと放送でも周知をしてまいりたいと思っております。

それとあと林家たい平さんの独演会を今年も行います。今回は小学生対象をまず2時から行いまして、一般向けを7時から行います。チケットは2,000円ということで、昨年から倍にしています。1月21日からの販売を開始したいと思っていますが、昨年は完売しましたので、今回も完売するかなとは思っております。それと、林家たい平さんに波佐見町のふるさと大使をお願いしようとしています。7時から始まる一般向けの前に、ふるさと大使の任命式を行いたいと思っています。

以上でございます。

森田教育長

2番のオンライン研修会には、渡部先生も参加してもらえましょうか。現場の事も分かってらっしゃるし、逆にお一人なら答えづらいところあるかもしれませんので、是非この②と③に渡邊先生をご一緒にされてみてください。

馬場委員

すいません、私がちょっとこの予定は入れてなくて、その日は中央小の書初めになっています。書初めについては、東小が1月10日午後14時から、それから南小が15日午後13時25分から、中央は13時50分からです。

森田教育長

林家たい平さんの落語ですが、元々は中学生と小学校6年生を対象にしていたんですが、中学生が、先月長崎県青少年劇場の部分で落語と紙芸をしたので、同じ落語ということと、ちょうど受験でしたので、今回は遠慮しますということになりました。バスとの絡みもありましたが、小学校に確認したら、もし可能であれば小学校3年生から6年生まで、聞かせたいということで学校から強い要望がありました。それで500名から550名ぐらいなので、キャパ的にはちょうど良いかなと思っています。

はい、持ち寄り議題に入りたいと思います。この場で共有するものであればお願いをいたします。

4. 議題

2) 持ち寄り議題について

馬場委員

今年度も生涯学習の集いが、大体予定どおりの講演会までという形で、3回ありますよね。その中で、文化協会からちょっと言われたことですが、文化協会では波佐見文化という本を出していますが、あの本の中に、小中学生高校生までの意見発表会の原稿が載っています。これは文化協会の好意で載せてもらっているんですが、波佐見文化という本は文化協会だけのものと思っている町民の方が多いみたいで、発表した子供たちも本に載っていることは知らない。各学校にもそれを配布していますが、学校では波佐見文化の本は販売するものだから、載せられないということをおっしゃられ、以前断られたということです。文化協会の編集委員さんたちは、ああいう良い発表するから、好意でそれを載せているのに対して、学校でそれ

を紹介して欲しいと言っても、あれは有料で販売するものだから学校では紹介できないと以前言われたということです。それから大分経ってはいますが、せっかく学校新聞とかがあるので、その中でちょっと載せて紹介をしてもらえないかという話が出ております。私も知っている子には言いますが、ほとんどの人は知らないんですよね。町の広報紙には、最近やっと波佐見文化が発刊されましたということは載るようになりましたが、内容的にもかなりの経費を使って発刊しているので、それを何とか学校でも紹介してもらえないかということです。文化協会だけのもののような感じで見ていらっしゃる方が多いので、学校側も子供たちにもそれを少し紹介して欲しいし、発表した本人も知らないっていうのは、ちょっとどうかなとも思いますので、申し訳ないですが、学校側でも宣伝をしてもらえませんかということでは言われました。

森田教育長 いつ言われたんでしょうね。

馬場委員 松添委員さんが教育委員をされている時だから、もう相当昔です。私たちの前だから。

森田教育長 現場にいる頃でも、そういう相談も1回もなかったです。10年前にもなりますが。

馬場委員 たいぶ前ですよ、10年以上前ですよ。

森田教育長 決してそのマイナスになることではないので、今おっしゃった理由は、理由としてあるのであろうと思いますが、子供たちの頑張っている様子を学校側が広報しないということは基本的にないだろうとは思っていますので、分かりました。

馬場委員 毎年発刊されていますので、知って欲しいということで、編集委員さんが強く言われましたので。

森田教育長 それは伝えておきます。

山下委員 私の息子が生涯学習の発表をした時とか、載せますとおっしゃったので、それを購入しました。あと文化祭でちょっと展示をされている方が、様子を見に来た親子の状況を書かれていた部分がありました。私たち親子だったんですが、それを載せたよとか言われて、購入しました。小中学校の作品を載せたりされていたので、そういった周知はされていたので、私は結構買っていました。

森田教育長 今頂いた意見については、学校だより等々で紹介をし、子供たちへ広報周知をして、それをきっかけに、保護者の方々にも広げていくということこ

ろでやっていきたいと思います。実際、あの場に来られる方は、1割程度しかいらっしゃらないわけですから。はい、分かりました。他ございませんか。

山下委員

南小の秋の遠足というところで、いろんなところに各学年、学習スタイルのような形で行かれていたようですが、6年生が中尾交流館と波佐見町役場というような感じだったと認識しています。去年役場がきれいに建て直されて、小学生も何かの機会、役場の施設内の見学とか、そこで教室なんかをされてみてはどうかという提案をさせていただいて、その後南小がこういった形で、役場見学とかを遠足としてされたのはとても良いことだなとは思いました。他の東小とか中央小学校はどういうふうになっているのかと思いました。結構内容的にもいい、各学年に合った遠足内容だったなというふうに感じました。

渡邊指導主事

そうですね、秋の遠足はもう学習活動の一環として遠足をしていますので、例えば、6年生でいえば歴史史跡を巡ったり、5年生では社会科で工場の勉強でキャノンに行ってみたりというようなことを、今各学校でもやっているところです。ですから、今回南小学校も、いろんなところに学年に応じて見学に行ったというところをなんですけども、詳細については私もまだよく分かってないところがあります。

馬場委員

去年、中学校もやりましたよね。

森田教育長

去年中学校も3小学校とも行っています。以前秋の遠足は鍛錬遠足でしたが、今は学習遠足になっていて、学習をメインとしたという部分で、多分南小は6年生の政治の勉強の部分で役場、庁舎が建て変わったということもあるでしょうし、以前私がいる頃は、6年生は金屋神社に行ってスケッチをやっていました。キャノンさんに行ったり、歴文に行ったり、3年生はいろんな庄屋跡や農民具資料館とか見て回ったりとかですね、そういうことをやっていて、ただ山下委員さんはせっかくこの庁舎が新しくできたということで、その一環として見学に来るコースとしてどうかということだと思います。南小学校は大体真ん中あたりに来るコースがほとんどということもあって、中央さんは余りにも間近にあり過ぎてということだと思います。せっかくできた新庁舎、行政の中核のということで、6年生の社会科の学習なり、あるいは他の部分、2年生が先ほどの給食センターに行ったりとか、そういうのも遠足の一環として、庁舎見学についてもそのコースに入れることができるよということで、また改めて校長会でも紹介をしていきたいと思っています。他ございませんか。

山下委員

波佐見高校の美術工芸科の生徒さんから、バス路線の廃止について学校側から何の連絡がまだないということでした。情報が共有できてないというところもあるんでしょうけれど、やっぱり今後がとても不安だということ

ころで相談を受けました。もしよろしければ、途中の段階でも学校の方から生徒さん方に、今川棚町と波佐見町で子供たちのことを考えて検討しているところですか、少しでも話をさせていただければ、ちょっと安心するのかなあと感じました。校長先生とかにお話しさせていただければと思います。

森田教育長

校長とはこのことは結構やりとりをしています。高校は県内でネットワーク化しているので、ある程度方向が固まってから、周知をしたいというお考えだったようです。だけど今お話があったように、今現在どうなるんだろうかという不安の部分があるので、見通しを持たせるために中学校にはその旨伝えた文書を発出していますが、不安を感じさせないために、今こんなことでやっているよということで生徒への周知をということ意見が出たということを経理に伝えていきます。そうすると、うちだけじゃなくて、川棚や川特や桜さんも関わってくるところもあるかもしれないし、波佐見高校から発出すれば、直ぐ県内全ての学校に情報がポンといくネットワークができていますので、そこはちょっと校長と確認をさせてください。そういう不安を感じている保護者、生徒がいたということで、その対応について学校側でお願いしますと話してみます。他ございませんか。

では、1月の定例会の日程を決めましょうか。

【日程調整】

森田教育長

では、次回は22日水曜日10時からということでお願いします。

子供たちが今、消防団との交流あたりもマスコミで流れたりとか、長瀬さんところの娘さんがKTNで特番を組まれたりとか、いろいろ地域交流の部分で頑張ってもらえるかなあと考えています。

始業式の県内の状況を資料として置いております。

一応12月の教育委員会ここで終わりますお疲れさまでした。

5. 前回会議録確認 (11月定例会の会議録を確認。)

※次回定例会予定 令和6年1月24日(水) 10時00分から
波佐見町役場新庁舎

令和6年12月20日教育委員会定例会会議録署名	
署名	馬場 清治
委員	松尾 保子